

第52回： 湖沼水質保全対策の経緯と今後の展開

開催日：2006年11月2日（木）／会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」東京都

開催趣旨： 日本の湖沼では、1970～80年代にかけて集水域における人口増加、産業発展により水質が悪化し、藻類発生による水利用障害が各地で問題となった。その問題を解決するため、湖沼水質保全特別措置法（湖沼法）が1984年に制定され、指定湖沼では様々な対策がこれまで講じられてきた。しかしながら現在に至っても湖沼の水質が十分に改善しているとは言い難い状況にあり、2005年には湖沼法の一部改正が行われ、また2006年には指定湖沼の大部分において湖沼水質保全計画の改訂作業が予定されている。

本セミナーでは、これまでの湖沼水質保全対策の経過や実態、湖沼法改定の経緯、また今後の湖沼水質保全施策の展開についてご講演いただく。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 改正湖沼法の概要（鈴木克昌／環境省水・大気環境局水環境課）
 - 印旛沼再生への取り組み（渡邊等／千葉県環境生活部水質保全課湖沼浄化対策室）
 - 「湖沼水質保全対策・総合レビュー検討調査」について
 - ・ 経緯と総論（今井章雄／（独）国立環境研究所）
 - ・ 事例① 諏訪湖での水質浄化の進展とそれに伴う生態系の変化（花里孝幸／信州大学山岳科学総合研究所）
 - ・ 事例② 琵琶湖の水質環境の変遷と将来展望（藤井滋穂／京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター）
- （総論 15分 + 事例 各 45分 + 質疑応答 15分）
- 湖沼水質保全における今後の課題や展開・技術動向について（須藤隆一／埼玉県環境科学国際センター）